

# 9条改憲 急ぐべきでない

臨時国会への改憲案提出  
「日経」テレビ東京  
9月21～23日調査



# 消費税10% 増税反対

消費税10%に引き上げ  
(来年10月)  
「共同」9月20、21日調査



# 原発再稼働 反対

原発再稼働  
「朝日」2月17、18日調査



# 民意無視はごめん

## 安倍政権ノーの思いを日本共産党へ

**国**民が望んでもいないのに、憲法を守るべき首相が国会に、自衛隊に改憲を呼びかける——立憲主義の破壊です。

**朝**鮮半島で平和の動きが起こっているとき、憲法に自衛隊を明記し、戦力保持を禁止した9条2項を空文化し、海外での武力行使を無制限にすることは「時代錯誤」です。

**安**倍首相は臨時国会で来年10月に消費税率を10%にすることを表明。1世帯あたり年8万円の負担増です。

**家**計消費が冷え込んでいるなかでの増税はさらに景気を悪くします。所得の少ない人ほど負担が増え、貧困と格差を広げるだけです。

**2**030年度には電力の20～22%を原発でまかなう(安倍政権)とすれば、東海第二原発など既存・建設予定の37基の原発をすべて稼働させることになります。

**出**力調整できない原発は電力の安定供給という点でも大問題です。

### 国民と共闘の力で 9条改憲を阻止

日本共産党は「安倍9条改憲NO!」の「3000万人署名」にとりくみ、世論と運動、市民と野党の共闘の力で、改憲をストップさせます。



### 一番の景気対策は 消費税10%増税中止

来年10月からの増税中止の一点で力をあわせてたたかいます。社会保障の財源は空前の利益を手にしている富裕層と大企業に応分の負担を求めて確保します。

2人以上世帯の実質  
**家計消費はマイナス25万円** 消費税9%増税前の2013年平均 / 17年9月～18年8月の平均  
一方、大企業と富裕層に空前の利益

大企業の純利益(この5年間で)  
19兆円→ **45兆円**

大株主が持つ株式の時価総額(この5年9カ月で)  
3.5兆円→ **17.6兆円**

### 原発ゼロ。分散型・再生 可能エネルギーの普及を

国民の運動で原発ゼロ法案を野党4党が提出しました。この法案も力に「原発ゼロの日本」、再生可能エネルギーの本格導入へ転換します。

### 世界の流れは再生可能エネルギー 立ち遅れている日本

	発電量に占める再生可能エネルギーの割合	2030年目標
日本	16%	22～24%
ドイツ	29%	50%
中国	25%	35% <small>2020年目標</small>

安倍政権にモノいい、民意とどける

# 日本共産党を伸ばしてください

- 日本共産党の地方議員は地方議会でも安倍政治と正面から対決、憲法9条改憲反対の意見書を提案・可決などの先頭にたっています。
- 消費税10%増税中止の意見書可決も広がっています。
- 東海第二原発のある茨城県では44自治体中、29自治体で再稼働・運転延長反対、廃炉を求める意見書を可決しています。

自・公などでは  
安倍政権を支えることに  
安倍政治ノーの意見書に、多くの自・公が  
地方議会で「反対」しています。



当選を決めた玉城デニー知事



知事と当選を喜ぶ山川仁・豊見城市長



声援にこたえる城間幹子市長

沖縄県知事選 9/30 投開票

豊見城市長選 10/14 投開票

那覇市長選 10/21 投開票

# 圧勝 オール沖縄3連勝 安倍政権に痛打

名護市辺野古への米軍新基地は造らせない——沖縄県の翁長雄志前知事の遺志を継ぎ、保守・革新の垣根をこえた「オール沖縄」の玉城デニー知事が誕生。続く豊見城市長選で山川仁氏が勝利、那覇市長選で城間幹子氏が再選しました。

## 新基地断念、普天間基地の無条件撤去もとめる対米交渉を

民意を無視した埋め立て工事再開など許されません。政府は強権的やり方をやめ、新基地建設を中止し、普天間基地の無条件撤去を求める対米交渉にふみきるべきです。

## 市民と野党が力をあわせれば

# 安倍政治を変えられる

大義の旗を掲げ、そのもとに、立場の違いをこえてお互いにリスペクトをもって団結し、あきらめずにたたかい続けるならば、どんな圧政もはねかえせる——沖縄のたたかいがしめしています。

野党が本気で結束すれば安倍政権を終わりにすることができます。日本共産党は、豊かで魅力ある共通公約づくり、選挙での相互推薦・相互支援、政権問題での前向きな合意をめざし、野党に真剣な協議を呼びかけています。



全員当選を決め万歳する(左2人目から)渋谷、辻、前川、朝子、井上の各氏と武山彩子府議候補(長岡京市議)=22日未明、京都府大山崎町

## 住民と日本共産党が共闘

### 「オール与党」現職に勝利

京都府大山崎町長選 10月21日投開票

日本共産党と「大山崎民主町政の会」が支持する前町議の前川光氏が、自民党や京都府知事が支援した「オール与党」の現職を破り初当選しました。前川氏は「公立3保育所の堅持」などを公約し広範な支持を得ました。町議選では、日本共産党が3議席から4議席となり、党の議席占有率としては全国一(33.33%)となりました。

しんぶん 赤旗  
日刊●3,497円 日曜版●823円

お申し込みはお近くの党事務所  
または党員が下記の住所まで  
日本共産党中央委員会  
〒151-8586 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-26-7  
TEL.03-3403-6111(代表)

購読申込書

おなまえ	おところ 〒
電話 ( )	○をつけてください。 日刊●3,497円 日曜版●823円

日本共産党の活動はみなさんによって支えられています。募金にご協力ください。もよりの党事務所か、お知り合いの党員にご連絡いただくか、右記へお送りください。郵便振替●日本共産党中央委員会 00170-7-98422